

松山市文化スポーツ栄誉賞 栗林さん(松山東雲女子大)受賞

世界デフバレー初V貢献

松山市は29日、聴覚障害者のバレーボール「デフバレーボール」の世界選手権(6月に沖縄県豊見城市で



松山市の藤田仁副市長(右)から表彰状を贈られる栗林愛美さん

29日午後、市役所

開催)に女子日本代表として出場し、初優勝に貢献した松山東雲女子大2年の栗林愛美さん(20)に市文化スポーツ栄誉賞を贈った。

栗林さんは小学4年でバレーを始め、2022年にブラジルで開かれたデフリンピック大会にチーム最年少で出場。世界選手権ではピンチサーバーとして試合の流れを変え、サイドアタッカーとしても活

躍した。

29日は市役所で表彰式があり、藤田仁副市長から表彰状と盾を受け取った。

「バレー観戦が好きな祖父と一緒に試合を見に行った時に、楽しそうだと思った」と振り返り「東京で来年開かれるデフリンピック大会では優勝を目指して頑張りたい」と笑顔を見せた。

同賞は文化やスポーツの分野で国際的、全国的に極めて高く評価されたり、功績を挙げたりした市ゆかりの個人や団体を表彰する。

(水原奈々)